

西尾太 さん(48)

フォー・ノーツ株式会社
代表取締役社長



やりたいことをやり抜く

僕は現在、自ら立ち上げた会社で、主に中小企業やベンチャー企業の人事制度をクライアントと共に作る仕事をしています。具体的には、企業の中での社員のキャリアステップを明確にし、その等級に基づいて給与を決めるお手伝いや社内研修、採用活動の支援など人事分野におけるコンサルティングを手掛けています。

僕と「人事の仕事」との出会いは、最初に就職した自動車会社で人事に配属になったことが始まりです。しかし、その会社で人事の仕事をしているうちに、「このままでは社内で通用する人間にはなるかもしれないが、社会で通用する人間にはなれないのではないか」と思い、やりたい仕事を探すために人材情報サービス

会社に転職をしました。そこでは、約7年間営業をやりましたが、自分が働く目的が見えず仕事が好きでないと感じていました。その後、人事にキャリアを絞って複数社経験し、それぞれの会社で整っていなかった人事制度を作り上げることに成功しました。一つの会社の中で人事から他の部署に移り、その会社の中で地位を築く道もありましたが、自分は人事という領域で様々な企業のお手伝いをしたいと思い、5年前に現在の会社を立ち上げました。今は、すべての仕事にやりがいを感じることができます。これからは学生とのネットワークも作りつつ、社会人と学生、経営者と転職希望者が会う場所を提供することもやっていきたい

と考えています。

「なぜ働くのか」僕は学生に常にそのような疑問を持って就活に取り組んでほしいと思います。お金などの得られるものは働いた“結果”であり、働く“目的”にすることではありません。会社に入るといことは、会社を通して社会により高い価値を提供することであり、自分の夢ではなくお客さんの夢の実現を考えることです。学生の皆さんには、どの会社に入るかということよりも、世の中に対して自分がどのような価値を提供するのかということをも“目的”にしてほしいと思っています。

(取材・文：文学部3年 渡辺麻友)

私が考えた「働く」ということ。

森下さんに取材して……

森下さんにお話を伺って、「働く」ということは自身のスキルアップをすること、と私は考えるようになりました。森下さんが前向きな性格だからこそ、問題が発生しても柔軟に対応できるのだと思います。また、森下さんが人との関わりを大事にしていること、常に自分自身を高めようと挑戦し続けているということが感じられる取材でした。これから就職活動を控えています但し予想外のことに躊躇せず、どう対処していくかを考え、自己成長できる場を自ら作りだしていきたいと思っています。

西尾さんに取材して……

私は“働く”とは社会に価値を提供することだと思いました。今まで私の働く目的は安定した将来を手に入れるためという漠然としたものですが、西尾さんに出会い、自分が働いてどのように社会や他者に貢献できるのかを考えることが“働く目的”に結びついたので感じました。これからは社会のフィルターを通して自分を客観視し、西尾さんのように自分のやりたい仕事で社会に影響を与えられる社会人になれるように努力したいと思います。

